

# この町で働く

町にはたくさんの企業があり、そこでは多くの人働いています。このコーナーでは、そんな企業の思いを紹介し、働いている人の社会人としてのこだわりなどを川根高校生がリポートします。

## ものづくりに自信と誇りを持って

埼玉県越谷市に本社がある精密金属加工メーカーの山元株式会社。創業者の山元文夫さんが元藤川地区出身であることから、本町にも工場拠点を構えています。同社の強みは金属の素材を高速プレス加工し、高品質の製品を生み出す最先端の技術と、グループネットワークを駆使した供給体制を国内外に有していること。その強みを活かして、車載用部品や通信機器、家電製品の部品など、人の生活に欠かせない精密機器を加工・流通させています。

「4部門ある組織の内、3部門で女性がリーダーを務めています。各リーダーの活躍で、職場が活性化し、風通しが良い環境を生み出しています」と話すのは取締役で同工場長の中村和文さん。「人と技術が財産の弊社は、若手とベテラン職員のコミュニケーションが充実しています。『できない』より『できる』ことを前向きに考えられる組織作りを社内一丸で進めています」と笑顔で続けます。

また、職員の多能工化によるワークライフバランスの充実に努める同社。育児や介護などを行っている職員の作業過多を防ぎ、誰でも安心して休暇を取得できる組織を目指しています。

「私たちの仕事はいわばものづくりの末端ですが、人の生活に欠かせない物を作っているという自信とプライドを持って毎日仕事をしています」と中村さんは力強く語りました。



山元株式会社  
川根工場

〒428-0301  
静岡県榛原郡川根本町徳山 204  
☎: 0547 (57) 2400  
HP: <http://www.yamagen-kk.co.jp/>  
代表取締役 山元 文夫

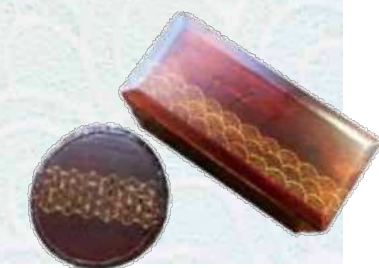
山元株式会社 検索



## この町で、暮らして vol.2

大井川めんぱ大井屋  
石関華さん (小長井区)

この町の人たちと一緒に  
めんぱを育てていきたい



伝統工芸「井川めんぱ」に魅せられて

千頭駅近く、SLの汽笛が聞こえ、店内には木と漆の心地良い香りが広がる大井川めんぱ大井屋。訪ねると作業の手を止めて笑顔で出迎えてくれた石関華さん。店主の前田佳則さんに師事し、蒔絵師、そして漆職人として働いています。石関さんは令和3年4月に川根本町に移住。京都伝統工芸大学に在学中、新聞記事で前田さんを偶然見て、本町を訪れました。「前田さんの伝統工芸に対する考え方に触れ、地元静岡の工芸品をもっと学びたい。携わっている職人たちの話をもっと知りたいと思った」と石関さんは移住したきっかけを振り返ります。

地域に飛び込み  
伝統芸能に触れる

地域の人から生活面についてよく心配されると笑う石関さん。「皆さんからしたら蒔絵師ってどんな仕事なんだろう? 20代の若者がやっていけない仕事なの? って思ってもかもしれませんね」と話し、「移住当初はアルバイトをしながらの生活でしたが、今は大井屋の仕事だけで生計を立てられています。既存のお客様はもちろん、蒔絵に興味を持ってくれるお客様も少し

ずつ増えています」と続けます。

移住後の石関さんは、移住者の先輩である前田さんのサポートを受けながら、地域と盛んに交流しています。その一つが「千頭神楽」。伝統文化にも興味があった石関さんは同神楽会に入会し、練習を重ね、今では神楽の舞手に。その継承の一翼を担っています。

「千頭神楽も古くから受け継がれ、未来につないでいくべきもの。伝統工芸に通じるものがある」と語り、「地域の文化をもっと知り、めんぱを未来につなげるために、さまざまなものから学んでいきたい」と真剣な表情で話しました。

この町の人と一緒に、、、

石関さんに、めんぱに施されている蒔絵「青海波文様」や「麻の葉文様」の意味を教えてもらいながら、今後の目標を聞いてみました。

「めんぱは修理しながら使うことを前提に作られた工芸品。持ち主が愛情を注ぎ続けて、かけがえない大切な物にしていく過程に携われることがうれしい」と前置きし、「自分には何ができるかまだ模索中。この町の人ともっと話をし、悩みながら生きていきたい。そしてこの町の人たちと一緒にめんぱを育てていきたい」とはにかみながら答えてくれました。

川根高校生がライターお仕事紹介リレー

## 資料グループリーダー 鈴木那奈さん

### 社会人としてのこだわりは?

鈴木さんが社会人としてこだわっていることの1つ目は、「1人1人の会話を気にかけるようにすること」です。常に気にかけることで、些細な変化にも気付くようになると話してくれました。

2つ目は、リーダーという立場の経験を積み重ね、「社員が働きやすい環境づくりに取り組んでいくこと」です。自分が積んだ経験を活かして、こうしたらより良い環境で仕事ができるということを考えて、取り組んでいるそうです。

2つのこだわりから、鈴木さんが社員の皆さんに対し、思いやりを持って接していることが分かりました。

高校生ライター  
川根高校1年 関戸悠真さん(島田市)

「一緒に働く社員への、思いやりを大切に。」



### 山元株式会社のここがすごい!

この会社で作られているさまざまな部品は、車・テレビ・スマホなど身近な物に使われており、私たちの生活を豊かにしていることです!



## 一緒に千頭神楽を次代につないでいきたい

前田佳則さんに紹介されて、千頭神楽の舞や神楽笛を華さんに教えることになりました。華さんはとても素直で熱心に練習に参加してくれたので、神楽の基本の型「幣の舞」をすぐに覚えてくれました。神楽会も担い手不足に悩んでいましたが、敬満大井神社祭典の神事で神楽を奉納する凛とした華さんを見て、華さんが舞手になってくれて本当に良かったと感じています。今後も華さんには神楽会を盛り上げてもらい、その歴史や文化を次代につないでほしいと思っています。



敬満大井神社祭典で千頭神楽の舞を披露する石関さん。優雅な姿に観客は魅了されていました。



敬満大井神社神楽会 会長 榎田肇さん(千頭西)